



小雀公園 里山通信



Vol.30 小雀公園のホタル



前は桜のお話をしましたが、先日放送された『帰れマンデー見つけ隊』という番組が田谷の洞窟に向かう際、小雀公園の八重桜が背後にちらっと映っていたので、良い時期に通ってくれたなと思いました。

桜の季節はあっという間に終わり、もう間もなく梅雨から酷暑へと移り変わっていきます。最近の夏は尋常じゃない暑さなので、もともと夏が苦手な人にはなおさら憂鬱な季節になってしまいました。せめて夜だけでも涼しければいいのですが、連日の熱帯夜にぐったりしてしまいます。それでも日差しがある日中と比べたら全然過ごしやすいので、昼間はじっとしている方も、夜は外に出て夕涼みもいいかもしれません。

そんなときにホタルを見られたら、きっと気分も上がると思います。小雀公園ではハイケボタルが生息しており、6月下旬から7月上旬頃をピークに観賞することができます。湧き水がこんこんと出る場所ではないので、周囲が田んぼばかりだったところと比べて生息環境が厳しくなっていますが、なんとか絶えないようにと環境を維持しています。

春先には湿地をわざと踏み歩いたり、増えすぎて水面を覆う植物を除去することで、一定の水深が確保できるようにしています。土を掘って水をためたほうがいいんじゃないの？と思われるかもしれませんが、水深が深くなると天敵のザリガニが増えてしまうそうです。ハイケボタルはひたひた程度の水深があれば十分生育できるので、浅いほうがかえって安全に生育できるのです。



あとはヨシがうっそうと茂りすぎないように、伸びは

じめに一度刈り取って、成長を抑えてみました。ハイケボタルは田んぼにすむホタルなので、うっそうと草が茂るよりも、稲が風にそよぐくらいの密度の草丈が良いのではないかと考えています。

ただしこの辺は最適な手段なのかは正解がわからないので、色々手法を変えながら手探りでホタルが喜びそうな環境づくりを目指して作業を行っています。湿地の作業は陸地の作業と比べてものすごく重労働です。湿地で職員が作業をしている姿を見かけたら、心の中でいいのでがんばって！と声援を送ってあげてくださいね。



小雀公園 ☎045-853-1945

<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>

横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

